



Wolters
Kluwer

CCH® Tagetik



Whitepaper

金融機関における 決算業務の高度化と迅速化

— CCH Tagetikで実現する財務会計改革 —



エグゼクティブサマリー

近年、財務規制の高度化・厳格化が進む中、企業には複雑化する会計基準や各種法規制への確実かつ継続的な対応が求められています。

その一方で、ビジネス推進に必要なデータ量や業務の複雑性は年々増大しており、コスト削減、業務プロセスの効率化、決算・開示の早期化といった要請は、これまで以上に強まっています。

こうした課題に対し、既存のERP・会計システムに影響を与えることなく、周辺業務を補完する仕組みを導入することで、手作業が残りがちな決算業務プロセスや業務データのデジタル化を実現できます。

これにより、決算業務の効率化・高度化を図るとともに、財務情報の品質・再現性を高め、迅速かつ安定した決算・開示業務の実現が可能となります。

金融機関で決算早期化が求められる背景

金融機関では、「経営」「規制」「市場」の各観点から、スピード・正確性・透明性・効率性・システム化を高水準で両立する決算体制の構築と、早期開示の実現が求められています。

1 経営環境の変化への即応と経営判断の高度化

金融市場は常に変動しており、金融サービス業 (FSI) 組織は、複雑な組織構造、M&A、相互に関連する金融取引、多通貨の為替変換、リスク、収益性、金利の圧力など、さらに多くの課題に直面している。こうした市場および業務上の変化に対して、財務およびリスク情報のリアルタイム可視化と分析に基づくインサイトを組み合わせることで、より強固な資産管理、より効果的な融資戦略、そして迅速な対応が可能になります。

2 監督当局による厳格な規制と報告義務

金融庁や日本銀行、証券取引所への報告には高い頻度と精度が求められ、Basel IIIやIFRS9など国際基準対応も不可欠です。遅延や誤りは信頼低下のリスクとなります。

3 信頼性・透明性のある情報開示への期待

金融機関には社会的責任が求められ、投資家・預金者・監督機関からの信頼を維持するため、財務・非財務情報を含む高い透明性を備えた開示が不可欠です。有価証券報告に加えリスク情報などの統合的な報告の重要性も高まっています。

4 デジタル活用による業務効率化と経理・財務人材不足対応

勘定系(基幹系)や情報系、リスク管理など複雑化するシステム環境と経理・財務人材不足を背景に、デジタル活用による業務効率化と付加価値の高い業務へのシフトが求められています。

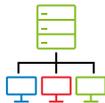
金融機関における決算業務の問題認識

金融機関の決算業務は、他業界と比べて複雑かつ煩雑であり、決算早期化の実現に向けて多くの課題を抱えています。



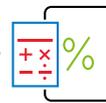
決算早期化と業務効率化の両立

短期間での決算報告を求められる中、複雑化・属人化した決算プロセスと人手による処理が決算早期化と業務効率化の阻害要因になっている。



データ収集とデータ統合 (一元管理)の負担

関連組織からのデータの収集に手間を要し、決算データの統合や整合性検証に多大な工数が発生。



計算処理・仕訳生成・決算調整の負担

手動計算や手動仕訳により、担当者の負担とリードタイムが増大しており。決算時に業務負荷が集中。



開示書類作成の非効率性

手作業による集計・加工や類似情報の反復反映が残り、機動的な開示対応を妨げている。



財管一致・管理会計との乖離

財務会計と管理会計（業績・採算等）の整合性が取れず、経営層への説明や意思決定支援が遅延。



人材・ナレッジ継承の課題

人材不足に加え、決算業務の属人化が進み、担当者依存の処理・調整が多い。

決算早期化のために必要な要素

金融機関が決算早期化を実現するために、システムに求められる主な機能は以下のとおりです。

データ蓄積(会計DWH)

- 各システムから連携されたデータを格納
- 財務、非財務、契約・取引情報などを保持

データ集計・加工

- 会計DWHに格納された情報に対し、四則演算、
- 集計、利息計算などを実施して元数値を算定

仕訳作成

- 集計・加工されたデータを元に仕訳を自動生成
- 振替仕訳や調整などの手動入力にも対応

注記係数作成

- 有価証券報告書の注記、決算状況表、
- 経営報告資料などで必要な係数を作成

開示資料作成

- 有価証券報告書、決算状況表、税務などの
- Word媒体の資料をプロセスに従ってシステム作成

データ連携

- インターフェースツール(ETL)やAPIなどによる
- 周辺システムとのシームレスな連携

勘定照合・リコンサイル

- ビジネス明細/補助簿と総勘定元帳の勘定照合
- 周辺システムとのデータ整合プロセスの自動化

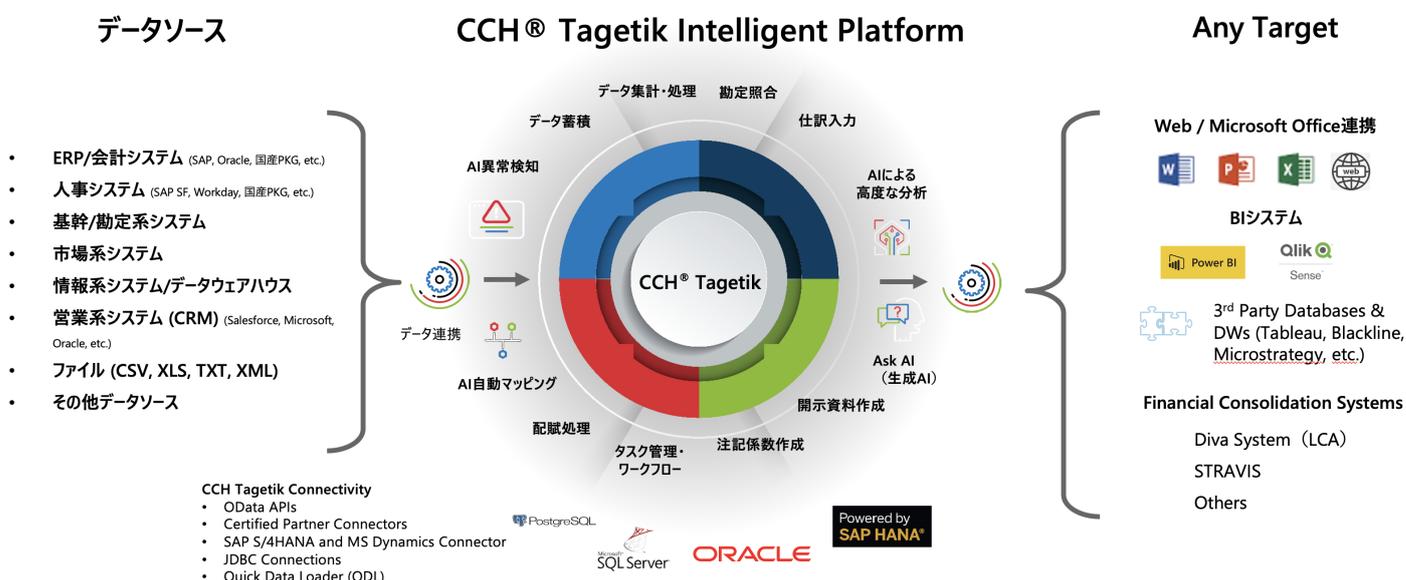
タスク管理・ワークフロー

- 決算業務に関わるタスクやスケジュールを一元管理
- 業務処理や承認をワークフローにより遂行

CCH® Tagetik - AIで高度化する決算早期化ソリューション

CCH® Tagetikは決算に関わる機能をワンプラットフォームに集約し、決算業務のスピードと正確性の向上を支援する決算プラットフォームです。

CCH Tagetikのオープンで拡張性の高いプラットフォームは、財務決算プロセスにおける強力なデータ統合とレポートングを提供



経営管理のプラットフォーム「CCH Tagetik」 製品概要

経営管理の次世代モデルとして、先進企業の注目を集めているCCH Tagetik Intelligent Platformは、経営の可視化と戦略的意思決定の高度化、そして決算・報告業務の早期化を実現する統合基盤です。その導入は、単なるシステムの刷新にとどまらず、企業の持続的成長を支える経営改革の礎となります。その特長は以下の通りです：

統合的な経営管理の実現



多様なソースシステムからのデータを単一プラットフォームへとシームレスに取り込み、SAP HANAとの連携で高速処理を実現。既存システムとの円滑な統合により、組織全体のデータを統一された視点で把握することが可能となります。決算データの一元管理と整合性確保により、グループ決算の効率化と早期化を支援します。

決算および連結業務における、AI搭載のExpert AI



財務データと非財務データを包括的に分析することで、財務状況やリスクの可視化を高度化し、決算・報告における透明性の向上を実現します。

AIによるデータクレンジングや異常値検知を通じて、各事業・拠点から報告されたデータを詳細に分析し、グループ全体の財務状況や連結数値の精緻化を可能にします。勘定・科目レベルを含む独自指標についても、柔軟に設定・管理できます。

中核機能の一つである「Ask AI (GenAIアシスタント)」は、音声やテキストによる自然言語を用いたセルフサービス型のデータ探索・可視化を実現します。加えて、決算および連結業務における自動診断チェックにより、数値の妥当性・整合性を確保しながら決算早期化を支援します。さらに、財務データの変換・集計プロセスの設定支援など、幅広いユースケースに対応します。

決算・報告プロセスの高度化と早期化



決算・報告・計画・分析の全プロセスをAIで強化し、正確性と統制を担保しながら決算早期化を実現します。決算業務の進捗や課題を可視化し、決算・報告プロセス全体を安定的かつ効率的に運用できる体制を構築します。リアルタイムでの数値把握により、決算影響の早期把握と適切な対応を可能にします。複雑な連結調整や財務影響シミュレーションにも対応します。



グローバル2,000社以上の成功事例

多種多様な業界・業種のトップ企業含む多くのお客様に採用いただき、経営管理基盤のグローバルスタ

ンダードとして、すでに世界2,000社以上の企業に採用されています。日本でも売上高上位10社の半数で採用され、各社のグローバル競争力強化とESG経営の実践を支えています。

日本の売上トップ10企業の半数が採用
グローバルでは2,000社以上の成功事例



保険・金融



ファッション



化学・製薬



製造業



オートモーティブ



CPG&リテール



サービス



電力・ユーティリティ



※順不同



お客様の声



トヨタファイナンス様：直感的な操作性と高い拡張

「CCH Tagetik によって集計や分析の時間が圧倒的に早くなっています。集計だけなら1日で完了。分析レポートの作成時間が短縮され経営報告が10営業日ほど早期化されました」

「CCH Tagetikは予算と実績を組み合わせて分析できる上、分析の自由度が非常に高い。しかもユーザーフレンドリーかつノーコードで設定・利用できる範囲が広く、操作性も非常に直感的。配賦のバリエーションが柔軟に設定できる点は、他の経営管理システムとは一線を画す製品だと感じています」

[詳しく知る →](#)



BNP PARIBAS

BNP PARIBAS様：信頼できる実績データで迅速な意思決定

「従来の複雑で非効率な管理会計システムを刷新し、CCH Tagetikにより短期間で柔軟かつ高機能な基盤を構築。財務モデリングを含む高度なパフォーマンスマネジメントを実現し、経営判断の迅速化と精度向上を支えています。」

[詳しく知る →](#)

まとめ

金融機関を取り巻く環境がかつてないスピードで変化する中、決算早期化を含む経営管理の高度化と柔軟な意思決定基盤の構築は、持続的成長の鍵となります。CCH Tagetikは、財務・非財務データを統合し、戦略的な意思決定を支える強力なプラットフォームとして、すでに世界の多くの金融機関で導入が進んでいます。

貴社の経営課題に対して、どのようにCCH Tagetikが貢献できるか。ぜひ一度、お気軽にご相談ください。

要約

本ホワイトペーパーでは、規制高度化、デジタル変革の進展、人材不足といった構造的課題に直面する日本の金融機関において、決算早期化が単なる経理業務の効率化ではなく、経営管理高度化と迅速な意思決定を支える経営アジェンダであることを明らかにします。

財務・非財務データの分断、属人化した決算プロセス、複雑化する規制対応といった課題に対し、CCH Tagetikは、AIを活用した経営管理・会計機能とデータ統合基盤により、決算・報告業務の早期化と品質向上を両立します。

また、トヨタファイナンスおよびBNPパリバの導入事例を通じて、本プラットフォームが高いスケーラビリティと操作性を備え、金融機関における経営管理に関連する業務の効率化・高度化、さらには全社的なデジタル変革を実効性をもって支援していることを示します。

キーワード:

金融サービス、日本、CCH Tagetik、決算早期化、決算・連結、開示・報告、AI搭載分析、ESG、IFRS 17、バーゼル III、TCF-D、ISSB、デジタル変革、経営管理、予測計画、企業データ統合、財務会計、管理会計、シナリオ分析、戦略的意思決定

お問い合わせ

経営管理の革新に向けて、以下のサポートをご提供しています

- 業界特有の課題に対する解決アプローチのご説明
- 貴社の現状課題に基づくソリューション提案
- 実際の操作画面を用いた機能紹介

お気軽に[お問い合わせ](#)ください。

ウォルターズ・クルワーについて

ウォルターズ・クルワー (EURONEXT:WKL) は、医療、税務・会計、ガバナンス、リスク管理とコンプライアンス、法務・規制、経営管理・ESGの各分野における専門情報、ソフトウェアソリューションとサービスのグローバルリーダーです。

深い専門知識とテクノロジー・サービスを組み合わせた専門的ソリューションを提供することで、お客様が日々重要な意思決定を行えるように支援しています。

ウォルターズ・クルワーは、2024年に59億ユーロの年間売上高を計上しました。同グループは180カ国以上の顧客にサービスを提供し、40カ国以上で事業を展開、全世界で約2万1,600人を雇用しています。本社はオランダのアルフェン・アン・デン・レインにあります。

For more information, visit www.wolterskluwer.com, follow us on [LinkedIn](#), [Facebook](#), [YouTube](#) and [Instagram](#).

Visit CCH® Tagetik website



CCH® Tagetik
by Wolters Kluwer